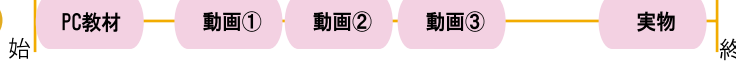


同時進行型



仙台市立沖野小学校小学校
齊藤 雅人

実践テーマ

解説の無い川の上・中・下流の映像を見て、上・中・下流の流れの速さや石の大きさ、形などがどのように変化しているかについて話し合う。

授業の進め方、デジタルテレビ等活用の仕方

- 導入：プレゼンテーションソフトで映像を見る際の着目する点を確認する。（興味・関心を高める）
- 展開：川の上・中・下流の様子映像を見て、それぞれの川の違いについてグループごとに話し合う。（思考・判断力を高める）
- まとめ：実物投影機で考えをデジタルテレビに提示しながら発表させる。（表現力を高める）

本時の展開

主な学習活動		
学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題を確認する。 これから視聴する黒部川についてプレゼンテーションソフトに載せた写真などで説明する（PC教材）。 	●自作PC教材
展開	<ul style="list-style-type: none"> 川の上・中・下流の様子映像を見る（動画①②③：解説のある部分の音声はミュートを使って消す）。 映像を見て、気づいたこと、発見したことを学習シートに記入し発表する。 上・中・下流はなぜこのように違いがあるのかについてグループ毎に考えを出し合い話し合う。 	●NHKデジタル教材 「黒部川の上流」「黒部川の中流」「黒部川の下流」
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 考えをグループごとに発表する（実物）。 児童から出てきたキーワードをもとにまとめを書く。 	●実物



プレゼンテーションソフトで映像を見る際の着目する点を確認する



川の上・中・下流の様子映像を見て、それぞれの川の違いについて話し合う



実物投影機を用いて、考えをデジタルテレビに映しながら発表させる

児童の反応・効果

- 黒部川のクリップ映像を見せる前に、プレゼンテーションソフトを用い、どのような川で、どのような観点をもって視聴するのかを示した所、児童は焦点を絞って視聴できた。
- ディスプレイが鮮明なので後部の児童にもよく見え、他の児童の結果がよく分かるので、聞き手にとっても考えを共有するのに役立った。児童は興味関心を高め、意欲を持って取り組むことができた。
- 一人一人に上・中・下流の様子の違いを考えさせる際に、無音で同じクリップ映像を流したことで、さらに詳しく違いをとらえさせることができた。

活用のポイント

- 黒板に集中させる時にはデジタルテレビの電源を消すことが重要。
- 実物投影機を使う際のデジタルテレビ画面に対する枠の大きさ。
- 実物投影機を使う際、あらかじめプリントを貼っておくなど、大きさを調整しておくことでのタイムロス进行のための工夫。
- クリップ映像を視聴させる際に、課題の答えを教えないうちに音声を消して考えさせたりする方法。

同時進行型



人吉市立人吉西小学校
梅本 和 高

実践テーマ

実験結果を提示し、みんなで考察し、水の働きを確実にとらえる。
ハイビジョンクリップ※を視聴し、実際の川のイメージをもつ。

授業の進め方、デジタルテレビ等活用の仕方

展 開：・児童が流水実験の結果をデジタルカメラで記録し、グループごとに実験結果を電子黒板で提示し、流れる水の働きについて発表する。(考察を助ける)
・教師が撮影した流水実験の動画をもとに流れる水の働きをとらえる。(理解を深める)
ま と め：ハイビジョンクリップ「川の流れる様子」を見せ、川の上流、中流、下流の違いに関心を持たせる。(興味・関心を高める)

本時の展開

主な学習活動		
学習の流れ	主な学習活動	使用する教材 (デジタルコンテンツ等)
導入	・流れる水にはどのような働きがあるかを調べる方法を確認する。 ・実験結果の記録方法を確認する。	
展開	・流水実験を行い、砂が削れる様子や流れる様子をデジタルカメラで記録する(静止画)。 ・実験の結果をグループごとに出し合い、共通点や相違点を考える。 ・グループの発表や流水実験の様子(動画①)から、流れる水の働きを考える。	●写真 ●自作教材(教師撮影の動画)
まとめ	・流れる水の働きについてまとめる。 ・川の上流、中流、下流の様子(動画②)を視聴し、次時の学習について知る。	●ハイビジョンクリップ「川の流れる様子」



デジカメ画像を提示し、実験結果を発表する



砂が削れて、流れている様子から流れる水の働きを考える



上流・中流・下流の様子をとらえる

児童の反応・効果

・土が削れたり、流れたり、積もったりする動画に、書き込みをすることで実験結果のポイントを明確にし、考察の共有化を図ることができた。
・高画質・高音質の大画面テレビで川の流れる様子を視聴させ、川の様子を明確にイメージさせることで、本時で学習したことを、実際に川の観察で生かそうとする意欲を高めた。

活用のポイント

・流水実験中に水が土を削ったり、運んだり、積もったりする様子を録画し、考察の時に再生し、流れる水の働きを確実にとらえさせた。
・ハイビジョンクリップ「川の流れる様子」を視聴させ、実際の川の様子のイメージ化を図ることができた。

※ハイビジョンクリップとは、数十秒から数分の長さの高画質動画。授業のポイントで使い、解説や確認に適している。